

宮城県貞山高等学校 [定時制課程 (普通科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県貞山高等学校は、「自立、友愛、創造」を校訓とし、昼夜間二部制・単位制の定時制高等学校として、多様な生徒の個性の伸長を図り、勤労を尊び、特別活動やボランティア活動等の校外学修等への積極的参加を促し、社会の向上・発展に寄与できる人材を育成します。また、科目履修生として一般の方を受け入れ、地域の生涯学習の場としても、積極的に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自主・自立の精神を尊び、自由と責任を重んじ、創造性豊かな人間を育成します。
- 勤労を尊び、強健な身体と豊かな情操を兼ね備えた人間を育成します。
- 社会の向上・発展に寄与できる人間を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 昼間部と夜間部との間に設けた併修課程の科目を履修すること等により、3年間での卒業を可能とします。
- 単位制の特徴をいかし、2年次以降は、在籍年次にとらわれない多様な選択科目を設定し、自由に選択履修できる中で、個に適した学びを実現します。
- ユニバーサルデザインによる教育を推進し、全ての生徒が「わかる・できる」を実感できる教育を推進します。
- 基礎的・基本的な学力の確実な育成を目指し、義務教育段階での学習内容の理解や定着を図るための学校設定科目を設定します。
- 生徒の特性や進路を考慮し、地域や社会の発展を担うために必要な資質・能力を、実践的・体験的な学習を通じて育成します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 自ら学ぼうとする意志をもち、単位制の特色を生かし、計画的に学習しようとする生徒を求めます。
- ルールやマナーを守り、自他の人格を尊重しようとする誠実な生徒を求めます。
- 夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組む生徒を求めます。